

令和5年度 大垣市教育振興基本計画評価委員会 第1回会議録

- 1 **とき** 令和5年7月14日（金）15:00～16:20
- 2 **ところ** 大垣市役所6階 6-3、6-4会議室
- 3 **出席者** 長谷川 哲也委員長、田村 弘司副委員長、井上 瞳委員、佐野 篤委員、
三代 広子委員、川合 麻美委員、内藤 正信委員
(欠席：尾形 佳隆委員)
- 4 **事務局** 細江教育長、平松事務局長、鈴木庶務課長、小塩庶務課長、
伊藤学校教育課長、山田教育総合研究所長、林社会教育スポーツ課長、
鈴木文化振興課長、橋本図書館長、高橋学校給食センター所長、
吉安庶務課主幹、大橋庶務課主幹

5 **傍聴者** なし

6 議 題

- (1) 委員長並びに副委員長の選出について
- (2) 大垣市第2次教育振興基本計画等について
- (3) 文化振興について
- (4) 図書館活用について
- (5) スポーツ推進について

7 会議録

- (1) 委員長並びに副委員長の選出について
委員の互選により、長谷川委員長、田村副委員長を選任。
- (2) 大垣市第2次教育振興基本計画等について
資料に基づき、鈴木庶務課長が説明。

発言者	発言概要
委員	分野別振興計画でいいますと、5年計画の3年目ということで折り返しの評価となります。昨年度より、評価不能が5件減ったというのは良かったと思います。これから詳しく評価等をお伺いしたいと思います。

(3) 文化振興について

資料No.2に基づき、鈴木文化振興課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	<p>指標の評価不能については、どれもコロナの関係で納得できる理由となっています。</p> <p>39ページの指標2「高校生以下の俳句投句数（句）」については、目標値が毎年右肩上がりになっています。目標値を設定した時にも議論があったと思いますが、高校生以下の子どもの数が減っているのは事実です。それでも目標値が上がっていくのは、改めて難しい設定ですので、考えていかないといけないと感じました。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>確かに、右肩上がり実績を上げていくことは難しいと実感しております。ご指摘いただきました、子どもの数等も加味していかなければいけないと考えておりますが、現段階ではこの目標値で評価していきたいと思っています。</p>
委員	<p>37ページの事業2、3について、指定管理者指定事業というのは、主体が違いますが、市が実施しているということですか。</p>
鈴木文化振興課長	<p>指定管理者指定事業は、市が指定管理者に事業を委託して実施しておりますので、主催者は市でございます。</p>
委員	<p>39ページの指標2「高校生以下の俳句投句数（句）」は、投句数であって人数ではないですね。</p>
鈴木文化振興課長	<p>そのとおりです。投句数です。</p> <p>1人が何句投句しているか分かりませんが、極端に世代や学年によって違うとは考えておりませんので、投句数全体を見て考えていくということです。</p>
委員	<p>小さいお子さんが参加された場合、保護者等の付き添いがあると思いますが、世帯でカウントすることもありますか。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>親子で参加される場合もありますので、参加組数でカウントする時もありますし、人数でカウントすることもあります。今回は、純粹に投句数をカウントしております。</p>
委員	<p>例えば、子育て日本一タイアップ事業や次世代のクリエイター育成事業で、小さいお子さんが参加された場合、参加組数でカウントされるとそれだけ家族に浸透したというのが分かると思います。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>親子で参加いただければ、より一層次世代の育成に繋がっていくと思います。</p>

発言者	発言概要
	38ページの実績は、人数と組が混在しておりますが、親子で参加していただけるものは、出来るだけ親子で参加していただけるように取り組んでおります。
委員	39ページの事業5 守屋多々志美術館自主事業の美術館アウトリーチ事業は、初めての事業でしょうか。
鈴木 文化振興課長	これまでも実施しております。学校にお伺いし、守屋多々志美術館に関する作品をテーマにお話しさせていただいております。
委員	47ページの指標1「歴史文化施設利用者数（人）」の評価がBとなっておりますが、今後も利用者の数だけで評価していくのかどうか。コロナのようなことがあれば、また利用者数は減りますので、利用者の満足度を検証していかないといけないと思います。
鈴木 文化振興課長	<p>歴史文化施設ではありませんが、私どもが所管しているスイトピアセンター・文化会館・学習館では、文化芸術事業を中心に行っておりますが、こちらでは文化事業団がアンケートを実施し、満足度の調査も実施しております。</p> <p>そして、市と指定管理者の文化事業団が連携し、アンケート結果を分析して事業にフィードバックしております。</p> <p>また、奥の細道むすびの地記念館に、芭蕉関係や先賢関係を展示しておりますが、こちらは建物を経済部が所管しておりますので、経済部と一緒に利用者アンケートを実施し、満足度やご意見をいただいております。ご指摘の歴史文化施設の大垣城、郷土館、歴史民俗資料館等については、コロナ対策の関係で、アンケートを中断しておりましたが、昨年度、委員にご意見をいただいた経緯もあり、アンケート再開の準備をしております。アンケートをしっかりとって、皆様のご意見や満足度を把握して事業に反映させていきたいと思っております。</p>
委員	民間企業ではこんなことをやっているということで、お聞き流しいただければと思いますが、私が勤務していたところでは、事業を実施した場合、マスコミへこれだけPRした、こういった反響があった、新聞にこれだけ載ったというバックデータを取っておりました。そういうバックデータを載せていただくと、事務局が一生懸命やっていたことが分かるのではないかと感じました。
鈴木 文化振興課長	そういった取り組みについては、毎年度まとめて、施設の運営委員会でお諮りいたしておりますので、データの活用については検討して

発言者	発言概要
	いきたいと思います。
委員	<p>目標値の設定の仕方については、途中で変えるわけにはいきませんが、右肩上がりの社会ではないので、そこを考えていかないと実態を表せないと思います。</p> <p>47ページの指標1「歴史文化施設利用者数（人）」の評価ですが、利用者数は増えてきましたが、目標値には届いておりません。文化施設の開館日はコロナで減っていましたか。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>コロナ禍では減っておりましたが、昨年度につきましては概ね通常通り開館しました。ただ、利用の形態に制限を設けており、人数制限や椅子の間隔を1つ空けるなどしていたしましたので、その関係で利用者数が減ったということは考えられると思います。</p>
委員	<p>開館日が通常より少なかった場合に減少するのは当たり前ですので、それを資料に付記する必要があると考えます。今はコロナが理由であると分かりますが、後で見た時に、なぜ急に減ったのかという疑問が湧きます。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>令和2年度と3年度に休館している施設がございますので、資料全体の中でどのように表記するか検討いたします。</p>
委員	<p>41ページの事業5 守屋多々志美術館自主事業は、39ページの同事業の一部再掲と、再掲でない事業もあるので、一部再掲という表記があっても良いと思いました。</p> <p>新規と臨時の違いは、どのようなことでしょうか。</p>
鈴木 文化振興課長	<p>新規事業は、新しく実施し引き続き実施していく事業で、臨時は、その年度だけの事業となります。</p>
委員	<p>皆さんの意見をお伺いして、そうだと思うところは多いです。</p> <p>委員がおっしゃったように、それぞれの事業で質的なデータをとることは重要だと思います。</p> <p>1つ1つの事業の満足度を調査して、質の向上はやっていただく必要があります。一方でこの資料の中に、質的なものをどこまで掲載するかということは、評価委員会ではなく事務局で議論していただきたいと思います。</p> <p>また、確かに右肩上がりの社会ではないので、目標数値が上がっていくことをどう考えるかですが、例えば人口で割ったり、子どもの人数で割ったりして、割合を出していくのも今後の方法の1つかと思います。現在の指標を途中で変えることは難しいですので、次回の指標づ</p>

発言者	発言概要
	<p>くりの参考にさせていただければと思います。</p> <p>次に、注意書きすることについてですが、現在、注意書きされていることは、評価不能についてのみです。減少の要因を全て注意書きしていくとなると、分析も難しいこともあると思いますので、明確にコロナの影響で減少していることを明記しなければいけないところについては、特記事項として書いていただく必要はあるかもしれません。全体の表記を検討させていただければと思います。</p>

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(4) 図書館活用について

資料No.2に基づき、橋本図書館長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	<p>表記の形式的なことですが、他の分野では、事業の名称が重なっている場合や内容が重なっている場合は、再掲と記載がありますが、図書館活用分野は事業名が一緒でも再掲と記載がありませんが、内容が違うためということでしょうか。</p>
橋本 図書館長	<p>はい。事業名は同じですが、実績の内容が異なっておりますので、再掲の記載はありません。</p>
委員	<p>61ページの指標1「ふるさと歴史講座参加者数（人）」ですが、60ページの事業1 ふるさと大垣学習事業のふるさと歴史講座の実績数値と違いますが、どこの数値でしょうか。</p>
橋本 図書館長	<p>61ページの指標1「ふるさと歴史講座参加者数（人）」は、ふるさと大垣学習事業の全講座の合計値となっております。</p>

総合評価について採決。異議なしのため原案のまま可決。

(5) スポーツ推進について

資料No.2に基づき、林社会教育スポーツ課長が説明。

以下、質疑応答の概要。

発言者	発言概要
委員	<p>65ページの指標2「全国・国際大会等への出場者数（件）」の実績が減り、自己評価がCとなった理由が、中止や延期があったというご説明でした。</p> <p>73ページの指標1「スポーツ教室への参加者数（人）」と、指標2「体</p>

発言者	発言概要
	<p>育施設の利用者数（学校体育施設を含む）（人）」の実績が減って、自己評価がCとBとなった理由が、同じくスポーツ教室の定員を減らした等のご説明でした。</p> <p>整合性を考えると、これをCとするか、評価不能とするか、審議した方が良いと思います。</p>
委員	<p>私も同感です。</p> <p>ここを評価された理由があればご説明いただいて、他との整合がつくのであればこのままで結構ですし、他の評価と同様に評価不能とすべきであれば、評価不能の説明を記載する必要があります。いかがでしょうか。</p>
林 社会教育 スポーツ課長	<p>理由としては、定員を減らしたことや、規模の縮小、人数制限を設けたということです。</p>
委員	<p>理由が他の評価不能と同じですので、評価不能として理由を記載するのが良いと思います。</p>
委員	<p>今の話に起因しますが、47ページの文化振興の基本目標3の指標と目標は、自己評価BとAで総合評価がBとなっていますが、総合評価Aでも良いと思います。</p> <p>スポーツ関連でも、Aじゃないかと思います。自己評価は目標の80%以上ということでBということですが、人員が増えており、人数制限もあったので、数値以外も考慮すべきだと思います。</p>
委員	<p>指標と目標が数値でしか図れないことになっていますので、現在はこの数字でしか判断できません。次回、目標設定時は努力したところも入ると良いと思います。</p>
委員	<p>委員に同感ですが、現在の状況ではこう評価せざるを得ないです。我々は、評価の中身の説明を受けていますので分かりますが、外部の方が見られた時に、BやCだけを見て良くないと判断されることは避けたい、努力の結果を反映できることがあれば良いかとは思っています。</p>
委員	<p>評価をするのかしないのかというのが前提にあり、47ページの評価については、まず評価をされたわけです。</p> <p>文化施設の利用の日数が若干減っているけれども、評価をされたということでした。程度問題だと思います。</p> <p>つまり、コロナの影響とって何とか評価できるのかどうか。例年より2日少なかった場合、2日なら評価しましょうとなりますが、全体の半分が開館できなかったのであれば評価不能としましょうというこ</p>

発言者	発言概要
	<p>とになります。</p> <p>おそらく47ページの評価については、コロナの影響を加味してもなお評価が出来るかと判断されたと思います。その基準で言うと、73ページの評価は、コロナの影響がどの程度あり、評価できるのかどうかということです。73ページの評価については、かなりコロナの影響を受けたという認識でよろしいですか。</p>
林 社会教育 スポーツ課長	<p>はい。例えばヨガの教室は、定員52人を35人に減らしておりますし、コースによっては全て中止にもしておりますので、評価不能とさせていただきますと思います。</p>
委員	<p>65ページの指標2「全国・国際大会等への出場者数（件）」についてはどうですか。</p>
林 社会教育 スポーツ課長	<p>こちらは、一部中止もありますが、評価はできる程度でございます。</p>
委員	<p>73ページの評価ですが、評価不能の理由を付していただいて評価不能とするのが良いのではないかというご意見がありますがいかがですか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
委員	<p>それでは73ページの指標につきましては、評価不能といたします。評価不能の理由を付していただきますようお願いいたします。</p> <p>先ほど、委員もおっしゃられましたが、やはり評価が低い理由を書くかどうか、特にその理由がコロナによる影響である場合、評価はできるがやはり厳しいという時に、それを理由として付記を書くかどうかという判断については、事務局でご検討いただくということではよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>

総合評価について採決。

基本目標4の自己評価及び総合評価を評価不能とし、他は異議なしのため原案のまま可決。

閉会